

# 平成 28 年度 研究計画書

Research Plan FY2016

DATE : 2016.6.17

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ 講師
氏名 Name	岡田 友和
専門分野 Academic Field	フランス近現代史

## 平成 28 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2016 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	フランス植民地主義の影響にかんする研究				
研究計画 (400 字～500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>前年度には第三共和政期フランスの植民地主義の特徴を把握するために、仏領インドシナを中心に植民地をめぐる政治家や官僚の身分、相互関係、言説、政策にかんする資料収集を行ない、これを分析しながら、植民地統治の理論や方法の特徴、その実態を明らかにしようとした。本年度も同作業を継続するが、さらに詳細かつ網羅的な官僚の経歴調査 (プロソポグラフィ) を行なう予定である。その成果のアウトプットを目指す。また、本年度は「植民地国家」の形成という問題意識から 20 世紀前半の仏領インドシナにおける「近代化」に注目し、とりわけ第三共和政期以降のフランスの衛生政策・制度の現地への導入とその影響を検討する。フランス植民地主義の実践とその影響が問題となる。近代的な衛生の設備・制度・観念の導入と、伝統的な現地社会 (とりわけベトナムの都市) によるその受容 (あるいは反発) の実態や意味を探ることが本研究の検討対象となる。いずれの研究も関連する一次史料を駆使して行なう予定である。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	ヨーロッパ史 (19-20 世紀フランス)	史学一般 (19-20 世紀)	アジア史・アフリカ史 (19-20 世紀)	地域研究	国際関係論
キーワード Keywords*2	第三共和政	仏領インドシナ	植民地	植民地都市社会	帝国